

# ダイワ米国投資法人債ファンド (為替ヘッジあり) 2016-10

## 運用報告書 (全体版) 第10期

(決算日 2021年9月6日)

(作成対象期間 2021年3月6日~2021年9月6日)

### 受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

当ファンドは、米国の投資法人債に投資し、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざしております。当作成期につきましてもそれに沿った運用を行ないました。ここに、運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

### 大和アセットマネジメント

Daiwa Asset Management

大和アセットマネジメント株式会社  
東京都千代田区丸の内一丁目9番1号  
お問い合わせ先 (コールセンター)  
TEL 0120-106212  
(営業日の9:00~17:00)  
<https://www.daiwa-am.co.jp/>

### ★当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	単位型投信/海外/債券
信託期間	約6年10カ月間 (2016年10月31日~2023年9月5日)
運用方針	信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行ないます。
主要投資対象	イ. AB米国投資法人債ファンド (為替ヘッジあり) (適格機関投資家専用) の受益証券 ロ. ダイワ・マネースtock・マザーファンドの受益証券
組入制限	投資信託証券への投資割合には、制限を設けません。
分配方針	分配対象額は、元本超過額または経費控除後の配当等収益のうちいずれか多い額とし、原則として、経費控除後の配当等収益の中から分配することをめざします。ただし、基準価額の水準等を勘案し、元本超過額も含めて分配を行なうことがあります。なお、分配対象額が少額の場合には、分配を行なわないことがあります。

設定以来の運用実績

決算期	基準価額				受益者 利益回り	公社債 組入比率	投資信託 受益証券 組入比率	元残 本率
	(分配) 税込み 分配金	期中 騰落額	期中 騰落率					
設定 (2016年10月31日)	円 10,000	円 -	円 -	% -	% -	% -	% -	% 100.0
1 期末 (2017年 3 月 6 日)	9,747	50	△203	△2.0	△5.8	0.0	99.2	100.0
2 期末 (2017年 9 月 5 日)	10,004	65	322	3.3	1.4	-	99.2	100.0
3 期末 (2018年 3 月 5 日)	9,714	50	△240	△2.4	△0.9	-	99.3	98.1
4 期末 (2018年 9 月 5 日)	9,657	20	△ 37	△0.4	△0.9	-	98.9	98.1
5 期末 (2019年 3 月 5 日)	9,716	0	59	0.6	△0.4	-	99.0	98.1
6 期末 (2019年 9 月 5 日)	10,384	20	688	7.1	2.1	-	98.7	94.7
7 期末 (2020年 3 月 5 日)	10,703	15	334	3.2	2.8	-	98.3	57.5
8 期末 (2020年 9 月 7 日)	10,307	80	△316	△3.0	1.6	-	98.2	57.5
9 期末 (2021年 3 月 5 日)	10,532	115	340	3.3	2.2	-	99.0	57.5
10 期末 (2021年 9 月 6 日)	10,528	135	131	1.2	2.2	-	99.1	57.5

(注1) 基準価額の騰落額および騰落率は分配金込み。

(注2) 公社債組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含まず。

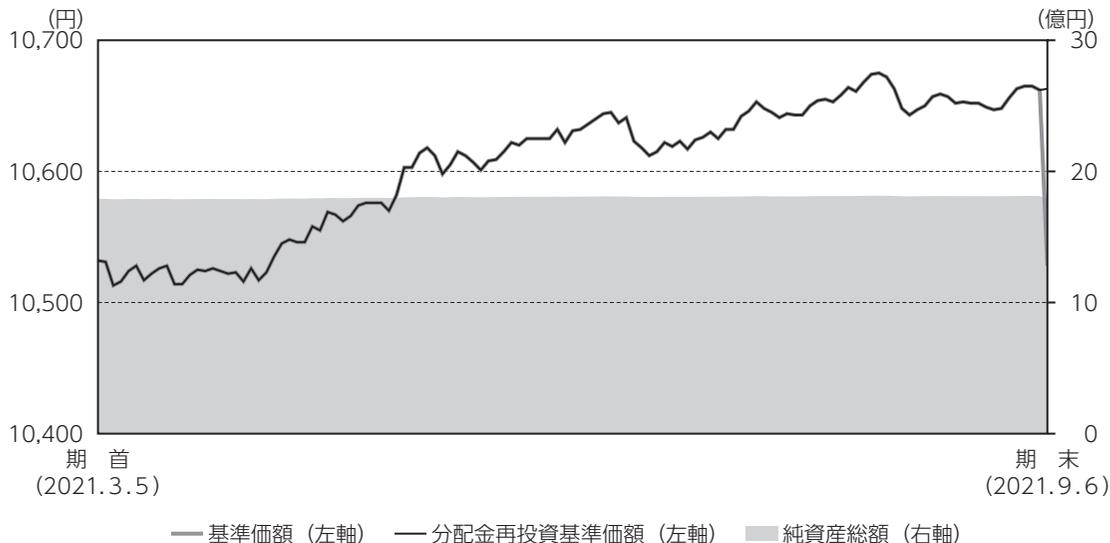
(注3) 公社債組入比率は新株予約権付社債券（転換社債券）および債券先物を除きます。

(注4) 当ファンドは、ファンドの運用方針に対して適切な比較指数がないため、ベンチマークおよび参考指数を記載しておりません。



## 運用経過

### 基準価額等の推移について



\* 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

\* 分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります（分配金を自動的に再投資するコースがないファンドもあります）。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

#### ■ 基準価額・騰落率

期首：10,532円

期末：10,528円（分配金135円）

騰落率：1.2%（分配金込み）

#### ■ 基準価額の主な変動要因

米国投資法人債に投資した結果、保有する米国投資法人債の価格の上昇や利息収入により、基準価額は上昇しました。なお、為替ヘッジにかかるコストは基準価額の下落要因となりました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

ダイワ米国投資法人債ファンド（為替ヘッジあり） 2016-10

年 月 日	基 準	価 額		公 社 債 入 比	債 率	投 資 組 益 入	信 証 比	託 券 率
		騰 落	率					
(期首) 2021年3月5日	円		%		%			%
	10,532		-		-			99.0
3月末	10,523	△0.1			-			99.0
4月末	10,582	0.5			-			99.1
5月末	10,625	0.9			-			99.1
6月末	10,626	0.9			-			99.2
7月末	10,661	1.2			-			99.2
8月末	10,663	1.2			-			99.3
(期末) 2021年9月6日	10,663	1.2			-			99.1

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

## 投資環境について

(2021.3.6～2021.9.6)

## ■米国投資法人債市況

米国投資法人債市況は上昇しました。

米国投資法人債市況は、米国長期金利は低下基調で推移し、信用スプレッド（国債に対する上乗せ金利）は縮小したことから、上昇しました（米ドルベース）。

米国長期金利は、当作成期首より、米国で大規模な経済対策が成立する見込みとなったことなどにより、上昇しました。その後は、米国で金融緩和の継続観測が高まったことなどから金利は低下し、レンジ内での推移が続きました。2021年6月には、将来の利上げ後の経済回復ペースや物価上昇圧力の鈍化が意識されたことで、長期ゾーンを中心に金利は低下しました。また、7月に発表された経済指標が、量的金融緩和の縮小や利上げを早期化させるような内容ではなかったため、引き続き金利は低下しました。

米国投資法人債の信用スプレッドは、当作成期の初めに米国長期金利の上昇を嫌気してスプレッドが大きく拡大する場面があったものの、その後2021年6月末にかけては、良好な需給環境を背景におおむね縮小基調で推移しました。7月から8月中旬にかけては、新型コロナウイルスのデルタ株の感染拡大による投資家心理の悪化からスプレッドは拡大しましたが、当作成期末にかけてはやや縮小しました。

## 前作成期末における「今後の運用方針」

## ■当ファンド

米国投資法人債F（為替ヘッジあり）とダイワ・マネースtock・マザーファンドに投資します。通常の状態、米国投資法人債F（為替ヘッジあり）への投資割合を高位に維持することを基本とします。

※米国投資法人債F（為替ヘッジあり）：A B米国投資法人債ファンド（為替ヘッジあり）（適格機関投資家専用）

## ■米国投資法人債F（為替ヘッジあり）

米国の投資法人債に投資し、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざします。また、為替変動リスクの低減を図るため為替ヘッジを行います。

## ■ダイワ・マネースtock・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

## ポートフォリオについて

(2021.3.6～2021.9.6)

### ■当ファンド

当ファンドは、米国投資法人債F（為替ヘッジあり）とダイワ・マネースtock・マザーファンドを投資対象ファンドとするファンド・オブ・ファンズです。当作成期を通じて米国投資法人債F（為替ヘッジあり）への投資割合を高位に維持しました。

### ■米国投資法人債F（為替ヘッジあり）

利回り水準や流動性、発行体の信用力などを考慮して銘柄選定を行いました。具体的には、発行体の財務内容が安定または改善傾向にある銘柄を中心に組み入れました。セクター別では、ショッピングセンター、オフィス、ヘルスケアの比率を高めとしました。また、為替変動リスクの低減を図るため為替ヘッジを行いました。

### ■ダイワ・マネースtock・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、コール・ローン等による運用を行いました。

## ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

## 分配金について

当作成期の1万口当り分配金（税込み）は135円といたしました。

なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

### ■収益分配金の計算過程

計算期間末における純資産額の元本超過額112,670,210円が、経費控除後の配当等収益23,316,107円を超過しているため、純資産額の元本超過額112,670,210円（1万口当り662.76円）を分配対象額として、うち22,950,000円（1万口当り135円）を分配金額としております。



## 今後の運用方針

### ■当ファンド

米国投資法人債F（為替ヘッジあり）とダイワ・マネースtock・マザーファンドに投資します。通常の状態、米国投資法人債F（為替ヘッジあり）への投資割合を高位に維持することを基本とします。

### ■米国投資法人債F（為替ヘッジあり）

米国の投資法人債に投資し、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざします。また、為替変動リスクの低減を図るため為替ヘッジを行います。

### ■ダイワ・マネースtock・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

## 1万口当りの費用の明細

項 目	当期 (2021.3.6~2021.9.6)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	27円	0.251%	信託報酬＝当作成期中の平均基準価額×信託報酬率 当作成期中の平均基準価額は10,605円です。
(投 信 会 社)	(15)	(0.139)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託会社への運用指図、基準価額の計算、法定書面等の作成等の対価
(販 売 会 社)	(10)	(0.098)	販売会社分は、運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 会 社)	(1)	(0.014)	受託会社分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売 買 委 託 手 数 料	—	—	売買委託手数料＝当作成期中の売買委託手数料／当作成期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
有 価 証 券 取 引 税	—	—	有価証券取引税＝当作成期中の有価証券取引税／当作成期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
そ の 他 費 用	0	0.004	その他費用＝当作成期中のその他費用／当作成期中の平均受益権口数
(監 査 費 用)	(0)	(0.004)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(そ の 他)	(0)	(0.000)	信託事務の処理等に関するその他の費用
合 計	27	0.255	

(注1) 当作成期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

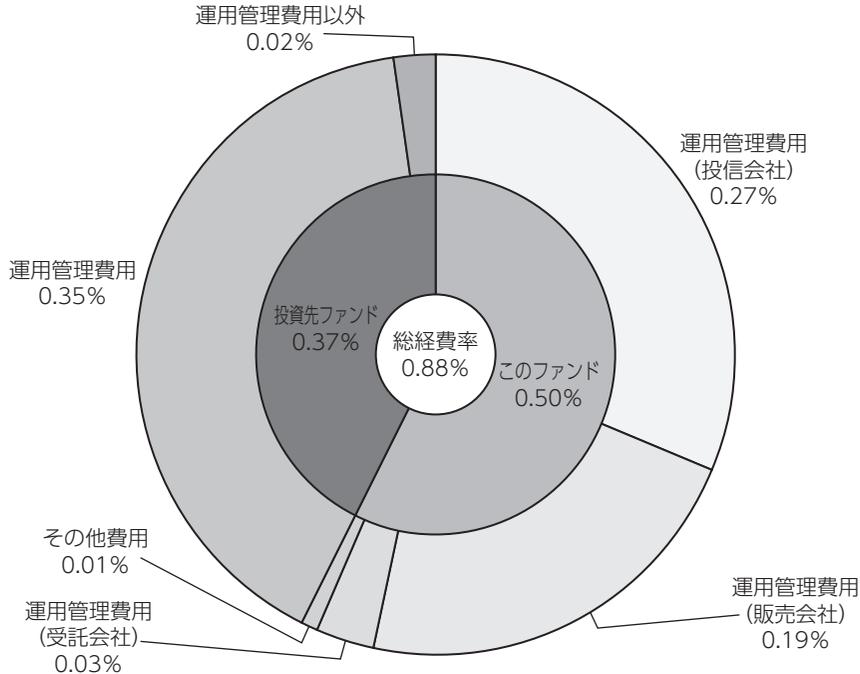
(注3) 各比率は1万口当りのそれぞれの費用金額を当作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、小数点第3位未満を四捨五入してあります。

(注4) 組み入れているマザーファンドがある場合、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当該マザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）がある場合、各項目の費用は、当該投資信託証券が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

参考情報

■ 総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額を、期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当り）を乗じた数で除した総経費率（年率）は0.88%です。



総経費率 (①+②+③)	0.88%
①このファンドの費用の比率	0.50%
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.35%
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.02%

- (注1) ①の費用は、1万口当りの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。  
 (注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。  
 (注3) 各比率は、年率換算した値です。  
 (注4) 投資先ファンドとは、このファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）です。  
 (注5) ①の費用は、マザーファンドが支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。  
 (注6) ①の費用と②③の費用は、計上された期間が異なる場合があります。  
 (注7) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率と異なります。

■売買および取引の状況  
投資信託受益証券

(2021年3月6日から2021年9月6日まで)

国	内	買 付		売 付	
		口 数	金 額	口 数	金 額
		千口	千円	千口	千円
	AB米国投資法人債ファンド (為替ヘッジあり) (適格機関 投資家専用)	26,791.695	28,000	24,835.228	26,000

(注1) 金額は受渡し代金。  
(注2) 金額の単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況等

当作成期中における利害関係人との取引はありません。

■組入資産明細表

(1) ファンド・オブ・ファンズが組入れた邦貨建ファンドの明細

ファ ン ド 名	当 期 末		
	口 数	評 価 額	比 率
国内投資信託受益証券	千口	千円	%
AB米国投資法人債ファンド (為替ヘッジあり) (適格機関投資家専用)	1,693,952.517	1,773,568	99.1

(注1) 比率欄は、純資産総額に対する評価額の比率。  
(注2) 評価額の単位未満は切捨て。

(2) 親投資信託残高

種 類	期 首 当 期 末		
	口 数	口 数	評 価 額
	千口	千口	千円
ダイワ・マネースtock・マザーファンド	0	0	0

(注) 単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2021年9月6日現在

項 目	当 期 末		
	評 価 額	比 率	
	千円	%	
投資信託受益証券	1,773,568	97.6	
ダイワ・マネースtock・マザーファンド	0	0.0	
コール・ローン等、その他	43,699	2.4	
投資信託財産総額	1,817,269	100.0	

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2021年9月6日現在

項 目	当 期 末
(A) 資産	1,817,269,019円
コール・ローン等	43,699,737
投資信託受益証券(評価額)	1,773,568,285
ダイワ・マネースtock・マザーファンド(評価額)	997
(B) 負債	27,548,809
未払収益分配金	22,950,000
未払信託報酬	4,523,497
その他未払費用	75,312
(C) 純資産総額(A - B)	1,789,720,210
元本	1,700,000,000
次期繰越損益金	89,720,210
(D) 受益権総口数	1,700,000,000口
1万口当り基準価額(C/D)	10,528円

\* 当期末の計算口数当りの純資産額は10,528円です。

■損益の状況

当期 自2021年3月6日 至2021年9月6日

項 目	当 期
(A) 配当等収益	27,914,957円
受取配当金	27,917,935
受取利息	48
支払利息	△ 3,026
(B) 有価証券売買損益	1,270,968
売買益	1,270,968
(C) 有価証券評価差損益	△ 2,406,944
(D) 信託報酬等	△ 4,598,850
(E) 当期損益金(A + B + C + D)	22,180,131
(F) 前期繰越損益金	90,490,079
(G) 合計(E + F)	112,670,210
(H) 収益分配金	△ 22,950,000
次期繰越損益金(G + H)	89,720,210

(注1) 有価証券評価差損益は、有価証券の期末の評価損益と期首との差額です。  
(注2) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。

(注3) 収益分配金の計算過程は5ページをご参照ください。

収 益 分 配 金 の お 知 ら せ	
1 万 口 当 り 分 配 金 (税 込 み)	135円

**<補足情報>**

当ファンド（ダイワ米国投資法人債ファンド（為替ヘッジあり）2016-10）が投資対象としている「ダイワ・マネースtock・マザーファンド」の決算日（2020年12月9日）と、当ファンドの決算日が異なっておりますので、当ファンドの決算日（2021年9月6日）現在におけるダイワ・マネースtock・マザーファンドの組入資産の内容等を掲載いたしました。

**■ダイワ・マネースtock・マザーファンドの主要な売買銘柄**

2021年3月6日～2021年9月6日における主要な売買銘柄はありません。

**■組入資産明細表**

2021年9月6日現在、有価証券等の組み入れはありません。

# ダイワ・マネースtock・マザーファンド

## 運用報告書 第11期 (決算日 2020年12月9日)

(作成対象期間 2019年12月10日～2020年12月9日)

ダイワ・マネースtock・マザーファンドの運用状況をご報告申し上げます。

### ★当ファンドの仕組みは次の通りです。

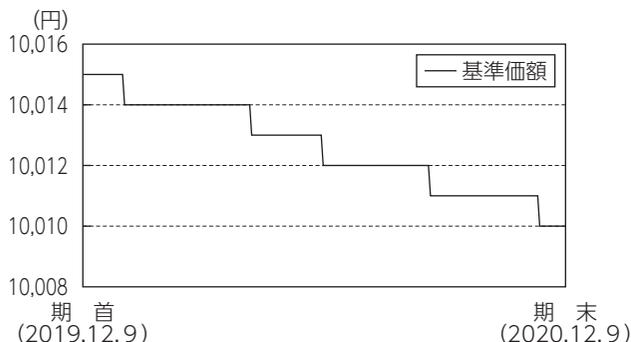
運用方針	安定した収益の確保をめざして安定運用を行ないます。
主要投資対象	円建ての債券
株式組入制限	純資産総額の10%以下

## 大和アセットマネジメント

Daiwa Asset Management

大和アセットマネジメント株式会社  
東京都千代田区丸の内一丁目9番1号  
<https://www.daiwa-am.co.jp/>

■当作成期中の基準価額と市況等の推移



年 月 日	基準 価 額		公 社 債 率
	騰 落 率	組 入 比 率	
(期首)2019年12月9日	円	%	%
12月 末	10,015	-	-
2020年 1月 末	10,014	△0.0	-
2月 末	10,014	△0.0	-
3月 末	10,014	△0.0	-
4月 末	10,013	△0.0	-
5月 末	10,013	△0.0	-
6月 末	10,012	△0.0	-
7月 末	10,012	△0.0	-
8月 末	10,011	△0.0	-
9月 末	10,011	△0.0	-
10月 末	10,011	△0.0	-
11月 末	10,010	△0.0	-
(期末)2020年12月9日	10,010	△0.0	-

(注1) 騰落率は期首比。  
 (注2) 公社債組入比率は新株予約権付社債券（転換社債券）および債券先物を除きます。  
 (注3) 当ファンドは、安定した収益の確保をめざして安定運用を行っており、ベンチマークおよび参考指数はありません。

《運用経過》

◆基準価額等の推移について

【基準価額・騰落率】

期首：10,015円 期末：10,010円 騰落率：△0.0%

【基準価額の主な変動要因】

コール・ローン等の利回りがマイナス圏で推移したことなどから、基準価額は下落しました。

◆投資環境について

○国内短期金融市況

当作成期を通じて、日銀は長短金利操作付き量的・質的金融緩和を維持しました。この金融政策を背景に、国庫短期証券（3カ月物）の利回りおよび無担保コール翌日物金利はマイナス圏で推移しました。

◆前作成期末における「今後の運用方針」

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

◆ポートフォリオについて

流動性や資産の安全性に配慮し、コール・ローン等による運用を行いました。

◆ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

《今後の運用方針》

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

■1万口当りの費用の明細

項 目	当 期
売買委託手数料	-円
有価証券取引税	-
その他費用 (その他)	0 (0)
合 計	0

(注1) 費用の項目および算出法については前掲しております項目の概要をご参照ください。

(注2) 項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

■売買および取引の状況

当作成期中における売買および取引はありません。

■主要な売買銘柄

当作成期中における主要な売買銘柄はありません。

■組入資産明細表

当作成期末における有価証券等の組み入れはありません。

■投資信託財産の構成

2020年12月9日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
コール・ローン等、その他	千円 88,460,615	% 100.0
投資信託財産総額	88,460,615	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2020年12月9日現在

項 目	当 期 末
(A) 資産	88,460,615,301円
コール・ローン等	88,460,615,301
(B) 負債	50,000,000
未払解約金	50,000,000
(C) 純資産総額(A - B)	88,410,615,301
元本	88,319,921,795
次期繰越損益金	90,693,506
(D) 受益権総口数	88,319,921,795口
1万口当り基準価額(C/D)	10,010円

\* 期首における元本額は103,532,314,258円、当作成期間中における追加設定元本額は103,255,612,211円、同解約元本額は118,468,004,674円です。

\* 当期末における当マザーファンドを投資対象とする投資信託の元本額は、ロボット・テクノロジー関連株ファンド - ロボテック-947,268円、ダイワ/ミレリアセット・インド株ファンド - インドの匠-29,910,270円、ワールド・フィンテック革命ファンド(為替ヘッジあり) 998円、ワールド・フィンテック革命ファンド(為替ヘッジなし) 998円、新興国ソブリン・豪ドルファンド(毎月決算型) 999円、新興国ソブリン・ブラジルレアルファンド(毎月決算型) 999円、新興国ソブリン・ファンド(為替ヘッジあり/毎月決算型) 999円、US短期ハイ・イールド社債ファンド(為替ヘッジあり/毎月決算型) 102,434円、ロボット・テクノロジー関連株ファンド - ロボテック (為替ヘッジあり) 39,849円、ロボット・テクノロジー関連株ファンド(年1回決算型) - ロボテック(年1回) - (為替ヘッジあり) 3,985円、iFreeレパレッジ S & P 500 1,249,412,852円、iFreeレパレッジ N A S D A Q 100 11,006,295,149円、米国4資産リスク分散ファンド(年2回決算型) 689,912円、グリーンテック株式ファンド(資産成長型) 998,802円、ロボット・テクノロジー関連株ファンド - ロボテック (毎月決算/予想分配金提示型) 999円、ダイワ上場投信-日経平均レパレッジ・インデックス2,927,475,552円、ダイワ上場投信-日経平均ダブルインバース・インデックス6,683,086,104円、ダイワ上場投信-TOP I Xレパレッジ(2倍) 指数1,085,050,377円、ダイワ上場投信-TOP I Xダブルインバース(-2倍) 指数1,226,094,880円、ダイワ上場投信-日経平均インバース・インデックス25,058,858,800円、ダイワ上場投信-TOP I Xインバース(-1倍) 指数11,170,317,850円、ダイワ上場投信-J P X日経400レパレッジ・インデックス387,469,071円、ダイワ上場投信-J P X日経400インバース・インデックス611,537,975円、ダイワ上場投信-J P X日経400ダブルインバース・インデックス141,884,108円、ダイワ米国投資法人債ファンド(為替ヘッジあり) 2016-07 997円、ダイワ米国投資法人債ファンド(為替ヘッジあり) 2016-10 997円、先進国トータルリターン戦略ファンド(リスク抑制型/適格機関投資家専用) 6,988,339,549円、ダイワ日本株ベア・ファンド(適格機関投資家専用) 19,374,063,390円、低リスク型アロケーションファンド(金利トレンド判断付き/適格機関投資家専用) 179,433,743円、ダイワ日本国債15-20年ラダー型ファンド・マネーポートフォリオ - S Lトレード-5,091,608円、ダイワ/ハリス世界厳選株ファンド・マネー・ポートフォリオ149,382,442円、ダイワ・アセアン内需関連株ファンド・マネー・ポートフォリオ5,609,419円、通貨選択型ダイワ/ミレリアセット・グローバル・グレートコンシューマー株式ファンドII 豪ドル・コース(毎月分配型) 595,106円、通貨選択型ダイワ/ミレリアセット・グローバル・グレートコンシューマー株式ファンドII ブラジル・レアル・コース(毎月分配型) 987,373円、通貨選択型ダイワ/ミレリアセット・グローバル・グレートコンシューマー株式ファンドII 通貨セレクト・コース(毎月分配型) 494,581円、ダイワUS短期ハイ・イールド社債ファンド(為替ヘッジあり/年1回決算型) 9,957円、ダイワ米国バンクローン・オープン(為替ヘッジあり) 997円、ダイワ米国バンクローン・オープン(為替ヘッジなし) 997円、ダイワ新グローバル・ハイブリッド証券ファンド(為替ヘッジあり) 997円、ダイワ新グローバル・ハイブリッド証券ファンド(為替ヘッジなし) 997円、ダイワ/ミレリアセット・細細株株式ファンド9,958,176円、通貨選択型ダイワ/ミレリアセット・グローバル好配当株α(毎月分配型) 米ドル・コース1,989,053円、通貨選択型ダイワ/ミレリアセット・グローバル好配当株α(毎月分配型) ブラジル・レアル・コース2,978,118円、通貨選択型ダイワ/ミレリアセット・グローバル好配当株α(毎月分配型) 通貨セレクト・コース1,691,241円、ロボット・テクノロジー関連株ファンド(年1回決算型) - ロボテック(年1回) -100,588円、ダイワ先進国リートα 為替ヘッジあり(毎月分配型) 399,083円、ダイワ先進国リートα 為替ヘッジなし(毎月分配型) 99,771円、通貨選択型ダイワ先進

国リートα 円ヘッジコース(毎月分配型) 399,083円、通貨選択型ダイワ先進国リートα 通貨セレクトコース(毎月分配型) 99,771円、ダイワ/ミレリアセット・グローバル・グレートコンシューマー株式ファンド(為替ヘッジあり) 1,091,429円、ダイワ/ミレリアセット・グローバル・グレートコンシューマー株式ファンド(為替ヘッジなし) 315,004円、ダイワ/ミレリアセット・アジア・セクターリーダー株ファンド10,009,811円、ダイワ日本株ストラテジーα(通貨選択型) - ジャパン・トリプルリターンズ- 日本円・コース(毎月分配型) 398,764円、ダイワ日本株ストラテジーα(通貨選択型) - ジャパン・トリプルリターンズ- 豪ドル・コース(毎月分配型) 99,691円、ダイワ日本株ストラテジーα(通貨選択型) - ジャパン・トリプルリターンズ- ブラジル・レアル・コース(毎月分配型) 398,764円、ダイワ日本株ストラテジーα(通貨選択型) - ジャパン・トリプルリターンズ- 米ドル・コース(毎月分配型) 398,764円、ダイワ日本株ストラテジーα(通貨選択型) - ジャパン・トリプルリターンズ- 通貨セレクト・コース(毎月分配型) 1,993,820円、通貨選択型ダイワ米国厳選株ファンド - イーグルアイII - 予想分配金提示型 日本円・コース300,273円、通貨選択型ダイワ米国厳選株ファンド - イーグルアイII - 予想分配金提示型 豪ドル・コース200,861円、通貨選択型ダイワ米国厳選株ファンド - イーグルアイII - 予想分配金提示型 ブラジル・レアル・コース300,273円、通貨選択型ダイワ米国厳選株ファンド - イーグルアイII - 予想分配金提示型 米ドル・コース1,999,177円、通貨選択型ダイワ米国厳選株ファンド - イーグルアイII - 予想分配金提示型 通貨セレクト・コース505,900円です。

\* 当期末の計算口数当りの純資産額は10,010円です。

■損益の状況

当期 自2019年12月10日 至2020年12月9日

項 目	当 期
(A) 配当等収益	△ 34,974,173円
受取利息	1,075,374
支払利息	△ 36,049,547
(B) その他費用	△ 1,522,123
(C) 当期損益金(A + B)	△ 36,496,296
(D) 前期繰越損益金	156,051,230
(E) 解約差損益金	△161,476,434
(F) 追加信託差損益金	132,615,006
(G) 合計(C + D + E + F)	90,693,506
次期繰越損益金(G)	90,693,506

(注1) 解約差損益金とは、一部解約時の解約価額と元本との差額をいい、元本を下回る場合は利益として、上回る場合は損失として処理されます。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。



## AB米国投資法人債ファンド（為替ヘッジあり）（適格機関投資家専用）

追加型株式投資信託／海外／債券  
第10期（決算日2021年8月5日）

- 当ファンドの仕組み  
当ファンドの仕組みは次のとおりです。

商品分類	追加型株式投資信託／海外／債券	
信託期間	2016年8月1日（当初設定日）から2023年9月4日までです。	
運用方針	<p>①AB米国投資法人債マザーファンドの受益証券を通じて、米国の投資法人債*に投資することにより、信託財産の成長を目指して運用を行います。 *当ファンドにおいて、「米国の投資法人債」とは、米国の金融商品取引所上場の</p> <p>1. 不動産投資法人 2. 不動産投資信託が発行する債券等をいいます。</p> <p>②マザーファンドの受益証券の組入比率は、原則として高位に維持します。</p> <p>③マザーファンドにおける米国の投資法人債への投資にあたっては、以下のような点に留意しながら運用を行うことを基本とします。</p> <p>1. 組み入れる米国の投資法人債については、原則として取得時においてBBB格相当以上の格付けを得ている銘柄に投資を行います。 *上記の格付けは、原則としてS&amp;P、ムーディーズ、フィッチの3社のうちで最も低い格付け（無格付けを除く）のものを使用し、BBB格相当はBBB-／Baa3格まで含めます。</p> <p>2. ポートフォリオの構築にあたっては、原則として、利回り水準や独自の調査により判断した信用力等を考慮して投資対象銘柄を選定します。</p> <p>3. ポートフォリオの修正デュレーションは、マザーファンドの残存年数+0.5(年)以内とすることを目指します。</p> <p>④実質外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行い、為替変動リスクの低減を目指します。</p>	
主要運用対象	AB米国投資法人債ファンド（為替ヘッジあり）（適格機関投資家専用）	AB米国投資法人債マザーファンドの受益証券を主要投資対象とします。
	AB米国投資法人債マザーファンド	主として、米国の投資法人債に投資することにより、信託財産の成長を目指して運用を行います。
組入制限	AB米国投資法人債ファンド（為替ヘッジあり）（適格機関投資家専用）	①外貨建資産への実質投資割合には、制限を設けません。 ②株式への実質投資割合は、信託財産の純資産総額の10%以下とします。
	AB米国投資法人債マザーファンド	①外貨建資産への投資割合には、制限を設けません。 ②株式への投資割合は、信託財産の純資産総額の10%以下とします。
分配方針	<p>毎決算時に、原則として以下の方針に基づき分配を行います。</p> <p>①分配対象額の範囲は、経費控除後の利子・配当等収益および売価益（評価益を含みます。）等の全額とします。</p> <p>②分配金額は、委託会社が基準価額水準、市場動向等を勘案して決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行わないこともあります。</p> <p>③留保益の運用については、特に制限を設けず、「基本方針」および「運用方法」に基づいて運用を行います。</p>	

### 受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

さて、「AB米国投資法人債ファンド（為替ヘッジあり）（適格機関投資家専用）」は、このたび第10期の決算を行いました。

ここに、当期の運用状況をご報告申し上げます。今後とも一層のお引き立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

### アライアンス・バーンスタイン株式会社

〒100-0011

東京都千代田区内幸町二丁目1番6号 日比谷パークフロント  
お問合せ先 お客様窓口

電話番号 03-5962-9687

（受付時間：営業日の午前9時から午後5時まで）

○最近5期の運用実績

決算期	基準価額			債 組 入 比 率	債 先 物 比 率	投資信託証券 組入比率	純 資 産 額
	(分配落)	税 込 分 配	み 金 騰 落 率				
	円	円	%	%	%	%	百万円
6期 (2019年8月5日)	10,174	20	6.3	94.5	—	—	7,042
7期 (2020年2月5日)	10,451	45	3.2	97.8	—	—	4,494
8期 (2020年8月5日)	10,170	110	△1.6	97.2	—	—	3,718
9期 (2021年2月5日)	10,496	145	4.6	99.4	—	—	3,629
10期 (2021年8月5日)	10,475	165	1.4	97.7	—	—	3,533

(注) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「債券組入比率」「債券先物比率」「投資信託証券組入比率」は実質比率を記載しております。

(注) 債券先物比率は買建比率－売建比率。

(注) 債券組入比率には、新株予約権付社債（転換社債）は含まれておりません。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準価額		債 組 入 比 率	債 先 物 比 率	投資信託証券 組入比率
	騰	落 率			
(期首) 2021年2月5日	円	%	%	%	%
	10,496	—	99.4	—	—
2月末	10,466	△0.3	99.3	—	—
3月末	10,471	△0.2	100.5	—	—
4月末	10,535	0.4	97.6	—	—
5月末	10,583	0.8	96.6	—	—
6月末	10,588	0.9	97.1	—	—
7月末	10,628	1.3	97.8	—	—
(期末) 2021年8月5日	10,640	1.4	97.7	—	—

(注) 期末基準価額は分配金込み、各騰落率は期首比です。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「債券組入比率」「債券先物比率」「投資信託証券組入比率」は実質比率を記載しております。

(注) 債券先物比率は買建比率－売建比率。

(注) 債券組入比率には、新株予約権付社債（転換社債）は含まれておりません。

(注) 月末は、各月の最終営業日です。

※ベンチマークについて

当ファンドの運用方針と類似した適切な指標が存在しないため、ベンチマーク及び参考指数を設けておりません。

## 運用経過

A B米国投資法人債ファンド（為替ヘッジあり）（適格機関投資家専用）（以下「当ファンド」といいます。）の運用状況をご報告いたします。

## 期中の基準価額等の推移

（2021年2月6日～2021年8月5日）



期首：10,496円  
 期末：10,475円（既払分配金（税込み）：165円）  
 騰落率：1.4%（分配金再投資ベース）

(注) 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

(注) 上記騰落率は、小数第2位を四捨五入して表示しております。

(注) 分配金再投資基準価額は、期首（2021年2月5日）の値が基準価額と同一になるよう指数化しております。

(注) 上記期末基準価額は、分配落ち後の価額を表示しております。

(注) グラフの日付は、期首・当期末以外は月末営業日を表示しております。

## ○基準価額等の推移

基準価額（分配金（税込み）再投資）は前期末比1.4%の上昇\*となりました。

\*基準価額の騰落率は、税込み分配金を決算日の基準価額で全額再投資したと仮定した場合のパフォーマンスを示しています。税金、手数料等を考慮しておりませんので、投資家の皆様の実際の投資成果を示すものではありません。

## ○基準価額の主な変動要因

## &lt;値上がり要因&gt;

- ・保有する米国投資法人債のクーポン収入
- ・保有する米国投資法人債の価格上昇

## &lt;値下がり要因&gt;

- ・為替のヘッジコスト

## 投資環境

（2021年2月6日～2021年8月5日）

当期の米国の投資法人債市場は、上昇しました。

米国国債金利は、2021年2月から3月にかけて、バイデン政権下の追加経済対策や景気回復への期待などから上昇しました。その後は、緩和的な金融政策が長期化するとの観測や、新型コロナウイルスのデルタ株の感染拡大から景気回復期待が低下し、金利は低下基調で推移しました。

米国投資法人債市場は、2021年3月に米国国債金利の上昇を嫌気してスプレッドが大きく拡大する場面があったものの、その後6月末にかけては良好な需給環境を背景に、おおむね縮小基調で推移しました。7月以降期末にかけては、新型コロナウイルスのデルタ株の感染拡大による投資家心理の悪化からスプレッドは拡大しました。

## 当ファンドのポートフォリオ

（2021年2月6日～2021年8月5日）

### <当ファンド>

当ファンドはA B米国投資法人債マザーファンド（以下、「マザーファンド」ということがあります。）受益証券への投資を通じて、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保を図ります。

当ファンドは期を通じてほぼ全額をマザーファンド受益証券に投資しました。当ファンドの実質外貨建資産については、高い為替ヘッジ比率を維持しました。

### <マザーファンド>

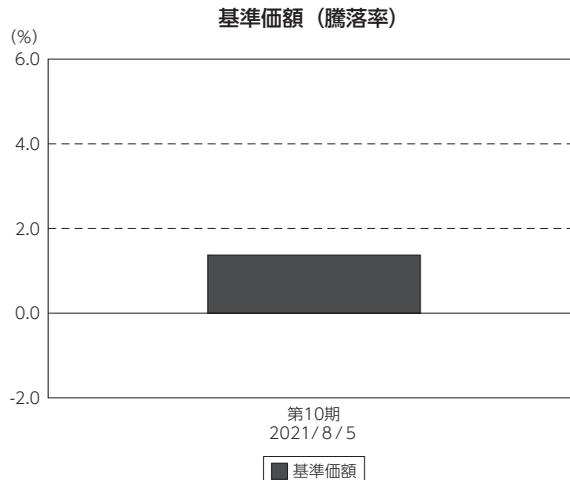
米国の投資法人債に投資することにより、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保を目指して運用を行います。運用にあたっては、利回り水準や流動性、発行体の信用力等を考慮して銘柄選定を行いました。具体的には、発行体の財務内容が安定または改善傾向にある優良銘柄を中心に組み入れました。

その結果、セクター別では、ショッピングセンター・セクターや都市部での需要環境が良好なオフィス・セクター、相対的に魅力的な価格水準にあるヘルスケア・セクターなどの比率が高めとなっています。

## 当ファンドのベンチマークとの差異

（2021年2月6日～2021年8月5日）

当ファンドは、特定の指数を上回ることを目指す運用を行っていないため、ベンチマークを設けておりません。



(注) 基準価額の騰落率は分配金込みです。

## 分配金

（2021年2月6日～2021年8月5日）

当期の収益分配については、配当等収益に基づき、基準価額水準、市場動向等を勘案し、165円（1万口当たり、税込み）としました。なお、収益分配に充てなかった利益については、信託財産内に留保し「運用の基本方針」に基づいて運用を行います。

## 分配原資の内訳

（単位：円、1万口当たり、税込み）

項 目	第10期
	2021年2月6日～ 2021年8月5日
当期分配金	165
（対基準価額比率）	1.551%
当期の収益	165
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	1,062

(注) 対基準価額比率は当期分配金（税込み）の当期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 「当期の収益」、「当期の収益以外」は小数以下切り捨てで算出しているため合計が「当期分配金」と一致しない場合があります。

(注) 上記表は、経費控除後の数値です。分配金の計算過程については、「損益の状況」の注記をご覧ください。

## 今後の運用方針

### <当ファンド>

引き続き、マザーファンド受益証券にほぼ全額投資する方針です。

### <マザーファンド>

米国の投資法人債市場については、新型コロナウイルスの影響から信用力に対する懸念が高まったものの、最悪期を乗り越え、足元のファンダメンタルズは改善に向かっています。特に影響が大きかったホテルではリゾートや幹線道路沿い物件を中心に稼働が伸びており、キャッシュフロー赤字からの脱却に成功する発行体も出てきていることから、今後も緩やかな改善基調が続くとみています。ショッピングセンター系の発行体では、生活必需品への安定した消費者需要を背景にコアテナントであるスーパーマーケットやディスカウントストアが堅調さを維持しており、財政支援を背景とする個人消費拡大の中、ファンダメンタルズはリテール・セクターの中では特に安定しています。バリュエーションの割安感に着目した需要も強く、良好な需給環境が当市場のパフォーマンスを下支えするとみています。運用にあたっては、個別発行体のキャッシュフローを見極めるなど、ボトムアップアプローチに注力しながら選別した投資を続ける方針です。

今後も引き続き、発行体の信用リスクに十分に配慮しながら魅力度の高い銘柄に投資することにより、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行う方針です。

※将来の市場環境の変動などにより、当該運用方針が変更される場合があります。

## ○ 1万口当たりの費用明細

（2021年2月6日～2021年8月5日）

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬 (投 信 会 社) (販 売 会 社) (受 託 会 社)	円 19 (17) ( 0) ( 1)	% 0.177 (0.164) (0.003) (0.011)	(a)信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 委託した資金の運用、基準価額の算出、法定書類作成等の対価 購入後の情報提供、各種書類の送付、口座内でのファンドの管理および事務手続き等の対価 運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) そ の 他 費 用 (保 管 費 用)  (監 査 費 用) (そ の 他)	1 ( 0)  ( 1) ( 0)	0.010 (0.002)  (0.008) (0.000)	(b)その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用 監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用 その他は、信託財産に関する租税、信託事務の処理に要する諸費用等
合 計	20	0.187	
期中の平均基準価額は、10,545円です。			

(注) 期中の費用（消費税等の課されるものは消費税等相当額を含めて表示）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。ただし、平均基準価額は円未満切り捨て。

(注) その他費用は、当ファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各比率は、1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

## ○売買及び取引の状況

(2021年2月6日～2021年8月5日)

## 親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘 柄	設 定		解 約	
	□ 数	金 額	□ 数	金 額
A B米国投資法人債マザーファンド	千口 49,166	千円 63,530	千口 333,496	千円 445,154

(注) 単位未満は切り捨て。

## ○利害関係人との取引状況等

(2021年2月6日～2021年8月5日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

## ○組入資産の明細

(2021年8月5日現在)

## 親投資信託残高

銘 柄	期 首 (前期末)	当 期 末	
	□ 数	□ 数	評 価 額
A B米国投資法人債マザーファンド	千口 2,861,627	千口 2,577,297	千円 3,504,867

(注) 単位未満は切り捨て。

## ○投資信託財産の構成

(2021年8月5日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
A B米国投資法人債マザーファンド	千円 3,504,867	% 97.5
コール・ローン等、その他	91,283	2.5
投資信託財産総額	3,596,150	100.0

(注) 評価額の単位未満は切り捨て。

(注) A B米国投資法人債マザーファンドにおいて、当期末における外貨建純資産（3,566,645千円）の投資信託財産総額（3,567,605千円）に対する比率は100.0%です。

(注) 外貨建資産は、当期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、邦貨換算に使用した為替レートは、1米ドル=109.66円です。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況（2021年8月5日現在）

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	7,412,194,449
コール・ローン等	3,954
AB米国投資法人債マザーファンド（評価額）	3,504,867,372
未収入金	3,907,323,123
(B) 負債	3,878,872,044
未払金	3,816,461,957
未払収益分配金	55,655,607
未払信託報酬	6,479,480
その他未払費用	275,000
(C) 純資産総額(A - B)	3,533,322,405
元本	3,373,067,119
次期繰越損益金	160,255,286
(D) 受益権総口数	3,373,067,119口
1万口当たり基準価額(C / D)	10,475円

(注) 期首元本額 3,457,971,290 円、期中追加設定元本額 46,653,339 円、期中一部解約元本額 131,557,510 円。当期末現在における 1 口当たり純資産額 1.0475 円。

○損益の状況（2021年2月6日～2021年8月5日）

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	△ 3,647
支払利息	△ 3,647
(B) 有価証券売買損益	55,425,105
売買益	349,787,316
売買損	△294,362,211
(C) 信託報酬等	△ 6,760,479
(D) 当期損益金(A + B + C)	48,660,979
(E) 前期繰越損益金	173,149,685
(F) 追加信託差損益金	△ 5,899,771
(配当等相当額)	( 10,247,333)
(売買損益相当額)	(△ 16,147,104)
(G) 計(D + E + F)	215,910,893
(H) 収益分配金	△ 55,655,607
次期繰越損益金(G + H)	160,255,286
追加信託差損益金	△ 5,899,771
(配当等相当額)	( 10,348,396)
(売買損益相当額)	(△ 16,248,167)
分配準備積立金	348,092,063
繰越損益金	△181,937,006

(注) (B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。  
(注) (C)信託報酬等には信託報酬、監査報酬などの諸費用とそれらに対する消費税等相当額を含めて表示しています。  
(注) (F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。  
(注) 第10期計算期間末における費用控除後の配当等収益額(58,709,520円)、費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額(0円)、収益調整金額(10,348,396円)および分配準備積立金額(345,038,150円)より分配対象収益額は414,096,066円(10,000口当たり1,227円)であり、うち55,655,607円(10,000口当たり165円)を分配金額としております。

○分配金のお知らせ

1万口当たり分配金（税込み）	165円
----------------	------

○お知らせ

2021年2月6日以降において、当ファンドの信託約款について、以下に掲げる事項を内容とする変更を行いました。

運用の指図に関する権限を委託するアライアンス・バーンスタイン・エル・ピーの所在の場所を、「アメリカ合衆国、ニューヨーク州、ニューヨーク市」から、「アメリカ合衆国、テネシー州、ナッシュビル市」に変更しました。  
(変更日：2021年7月6日)

○（参考情報）親投資信託の組入資産の明細

（2021年8月5日現在）

< A B米国投資法人債マザーファンド >

下記は、A B米国投資法人債マザーファンド全体（2,577,297千口）の内容です。

外国公社債

(A) 外国（外貨建）公社債 債券種類別開示

区 分	当 期		末					
	額 面 金 額	評 価 額		組 入 比 率	うち B B 格 以下組入比率	残 存 期 間 別 組 入 比 率		
		外 貨 建 金 額	邦 貨 換 算 金 額			5 年 以 上	2 年 以 上	2 年 未 満
アメリカ	千米ドル 29,240	千米ドル 31,478	千円 3,451,950	% 98.5	% -	% 7.3	% 82.3	% 8.9
合 計	29,240	31,478	3,451,950	98.5	-	7.3	82.3	8.9

(注) 邦貨換算金額は、当期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

(注) 単位未満は切り捨て。

(注) -印は該当なし。

(注) 評価については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

(B) 外国（外貨建）公社債 個別銘柄開示

銘	柄	当 期		末		
		利 率	額 面 金 額	評 価 額		償 還 年 月 日
				外 貨 建 金 額	邦 貨 換 算 金 額	
アメリカ		%	千米ドル	千米ドル	千円	
	普通社債券	3.125	1,311	1,373	150,634	2023/9/1
		3.95	606	632	69,370	2023/2/15
		4.1	510	551	60,500	2024/10/1
		3.25	754	792	86,850	2023/9/15
		3.65	619	666	73,089	2024/6/15
		3.85	415	452	49,662	2025/2/1
		5.125	1,025	1,166	127,893	2026/8/15
		4.15	430	467	51,221	2025/4/1
		5.0	1,402	1,584	173,800	2025/7/1
		4.375	614	662	72,607	2023/12/15
		3.625	1,840	1,959	214,849	2025/2/1
		3.875	510	557	61,179	2025/5/1
		3.75	1,655	1,743	191,200	2023/10/15
		4.375	245	274	30,056	2025/10/1
		4.0	522	567	62,241	2026/10/1
		3.75	330	356	39,066	2024/6/15
		3.9	345	372	40,896	2024/6/15
		4.375	305	324	35,624	2023/8/1
		4.45	1,680	1,813	198,904	2024/3/15
		5.0	1,636	1,769	194,070	2023/12/15
		4.0	510	546	59,980	2024/12/15
		4.0	1,810	1,939	212,674	2025/3/15
		4.5	830	902	98,949	2025/2/1
		3.25	1,820	1,872	205,333	2022/10/15

A B米国投資法人債ファンド（為替ヘッジあり）（適格機関投資家専用）

銘	柄	当 期 末				償 還 年 月 日
		利 率	額 面 金 額	評 価 額		
				外 貨 建 金 額	邦 貨 換 算 金 額	
		%	千 米 ド ル	千 米 ド ル	千 円	
	普通社債券					
	SPIRIT REALTY LP	4.45	539	608	66,700	2026/9/15
	TANGER PROPERTIES LP	3.875	301	318	34,909	2023/12/1
	TANGER PROPERTIES LP	3.75	725	773	84,873	2024/12/1
	VENTAS REALTY LP	3.75	866	929	101,920	2024/5/1
	VENTAS REALTY LP	3.5	591	640	70,202	2025/2/1
	VEREIT OPERATING PARTNER	4.6	1,300	1,413	155,056	2024/2/6
	WEINGARTEN REALTY INVEST	4.45	1,040	1,120	122,882	2024/1/15
	WELLTOWER INC	3.625	1,472	1,578	173,049	2024/3/15
	WP CAREY INC	4.6	682	744	81,694	2024/4/1
合 計					3,451,950	

(注) 邦貨換算金額は、当期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注) 単位未満は切り捨て。



## AB米国投資法人債マザーファンド

第5期（決算日2021年2月5日）

（計算期間：2020年2月6日～2021年2月5日）

### ●当ファンドの仕組み

当ファンドの仕組みは次のとおりです。

運 用 方 針	<p>①主として、米国の投資法人債*に投資することにより、信託財産の成長を旨として運用を行います。 *当ファンドにおいて、「米国の投資法人債」とは、米国の金融商品取引所上場の 1. 不動産投資法人 2. 不動産投資信託 が発行する債券等をいいます。</p> <p>②米国の投資法人債の組み入れについては、原則として取得時においてBBB格相当以上の格付けを得ている銘柄に投資を行います。 *上記の格付けは、原則としてS&amp;P、ムーディーズ、フィッチの3社のうちで最も低い格付け（無格付けを除く）のものを使用し、BBB格相当はBBB-/Ba3格まで含めます。</p> <p>③ポートフォリオの構築にあたっては、原則として、利回り水準や独自の調査により判断した信用力等を考慮して投資対象銘柄を選定します。</p> <p>④ポートフォリオの修正デュレーションは、マザーファンドの残存年数+0.5(年)以内とすることを旨とします。</p> <p>⑤米国の投資法人債の組入比率は、高位に維持することを基本とします。</p>
主 要 運 用 対 象	米国の投資法人債を主要投資対象とします。
組 入 制 限	<p>①外貨建資産への投資割合には、制限を設けません。</p> <p>②株式への投資割合は、信託財産の純資産総額の10%以下とします。</p>

## アライアンス・バーンスタイン株式会社

〒100-0011

東京都千代田区内幸町二丁目1番6号 日比谷パークフロント

お問合せ先 お客様窓口

電話番号 03-5962-9687

（受付時間：営業日の午前9時から午後5時まで）

## ○設定以来の運用実績

決 算 期	基 準 価 額	期 騰 落 中 率		債 組 入 比 率	債 先 物 比 率	投 資 信 託 証 券 組 入 比 率	純 資 産 額
		騰	落				
(設定日) 2016年8月1日	円 10,000	% -	% -	% -	% -	% -	百万円 6,415
1期(2017年2月6日)	10,732	7.3	98.4	-	-	-	8,906
2期(2018年2月5日)	10,991	2.4	98.6	-	-	-	9,803
3期(2019年2月5日)	11,334	3.1	98.1	-	-	-	7,951
4期(2020年2月5日)	12,747	12.5	97.1	-	-	-	5,160
5期(2021年2月5日)	12,874	1.0	97.9	-	-	-	3,684

(注) 設定日の基準価額は、当初設定時の価額です。また設定日の純資産総額は、当初設定元本総額を表示しております。

(注) 債券先物比率は買建比率-売建比率。

(注) 債券組入比率には、新株予約権付社債(転換社債)は含まれておりません。

## ○当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基 準 価 額	期 騰 落 率		債 組 入 比 率	債 先 物 比 率	投 資 信 託 証 券 組 入 比 率
		騰	落			
(期 首) 2020年2月5日	円 12,747	% -	% 97.1	% -	% -	% -
2月末	12,875	1.0	97.8	-	-	-
3月末	12,034	△5.6	96.7	-	-	-
4月末	11,556	△9.3	98.9	-	-	-
5月末	11,739	△7.9	92.4	-	-	-
6月末	12,194	△4.3	98.0	-	-	-
7月末	12,080	△5.2	97.7	-	-	-
8月末	12,293	△3.6	97.9	-	-	-
9月末	12,455	△2.3	96.7	-	-	-
10月末	12,340	△3.2	90.9	-	-	-
11月末	12,396	△2.8	94.7	-	-	-
12月末	12,498	△2.0	94.8	-	-	-
2021年1月末	12,728	△0.1	98.0	-	-	-
(期 末) 2021年2月5日	12,874	1.0	97.9	-	-	-

(注) 騰落率は期首比です。

(注) 債券先物比率は買建比率-売建比率。

(注) 債券組入比率には、新株予約権付社債(転換社債)は含まれておりません。

※参考指数について  
当マザーファンドの運用方針と類似した適切な指標が存在しないため、参考指数を設けておりません。

## 運用経過

A B米国投資法人債マザーファンド（以下「当マザーファンド」ということがあります。）の運用状況をご報告いたします。

## 期中の基準価額等の推移

(2020年2月6日～2021年2月5日)

## ○期中の基準価額の推移



## ○基準価額等の推移

基準価額は、前期末比1.0%の上昇となりました。

## ○基準価額の主な変動要因

## &lt;値上がり要因&gt;

- ・保有する米国投資法人債のクーポン収入
- ・保有する米国投資法人債の価格上昇

## &lt;値下がり要因&gt;

- ・円高米ドル安になったこと

**投資環境**

(2020年2月6日～2021年2月5日)

当期の米国の投資法人債市場は、上昇しました。

米国公債金利は、2020年2月中旬から3月初旬にかけては、新型コロナウイルスの世界的感染拡大や原油安を巡る懸念を背景に米国株式市場でダウ工業株30種平均が一時2,000ドルを超える下落となり、米連邦準備理事会（FRB）が緊急利下げに踏み切ったことを受け、急速に低下しました。3月中旬には景気刺激策への期待を背景に反発したものの、8月初旬にかけては再び低下基調で推移しました。その後2021年2月初旬にかけては、大規模な財政支出への期待や新型コロナウイルスのワクチン実用化への期待などから上昇基調で推移しました。

米国投資法人債市場は、2020年2月から4月初旬にかけては、新型コロナウイルスの感染拡大に対する懸念の高まりを受けて世界的な景気後退（リセッション）や企業破綻に対する警戒感などから、信用スプレッドは大きく拡大しました。その後2021年2月初旬にかけては、新型コロナウイルスのワクチン実用化への期待や世界的な金融緩和の流れからリスク選好が高まったことで、スプレッドは大きく縮小しました。

為替市場において、2020年2月中旬から3月初旬にかけては、新型コロナウイルスの世界的感染拡大への懸念から安全資産である円が買われ、急速に円高ドル安が進行したものの、3月中旬にはドルが反発しました。その後2021年2月初旬にかけては、新型コロナウイルスの感染拡大による経済停滞の懸念と、ワクチン実用化への期待などをめぐる明るいニュースに左右される展開となったものの、おおむね円高ドル安基調で推移しました。

**運用概況**

(2020年2月6日～2021年2月5日)

当マザーファンドは、米国の投資法人債に投資することにより、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保を目指して運用を行います。

運用にあたっては、利回り水準や流動性、発行体の信用力等を考慮して銘柄選定を行いました。具体的には、発行体の財務内容が安定または改善傾向にある優良銘柄を中心に組み入れました。

その結果、セクター別では、ショッピングセンター・セクターや都市部での需要環境が良好なオフィス・セクター、相対的に魅力的な価格水準にあるヘルスケア・セクターなどの比率が高めとなっています。

**今後の運用方針**

米国の投資法人債市場については、全体として高い賃料回収率が続いており、出遅れていたリテール・セクターでも賃料回収状況に改善が見られます。これまで発行体各社は手元流動性を予防的に高めてきたこともあり、組み入れる発行体は今回の危機を乗り越えることができると考えています。リテールについては、モール系発行体に対しては慎重な銘柄選択のもと、抑制した組み入れ方針を維持しています。一方、ショッピングセンター系の発行体では、生活必需品への安定した消費者需要を背景にコアテナントであるスーパーマーケットやディスカウントストアが堅調さを維持しており、ファンダメンタルズの悪化は限定的と考えることから現状の組み入れを維持する方針です。

今後も引き続き発行体の信用リスクに十分に配慮しながら魅力度の高い銘柄に投資することにより、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行う方針です。

※将来の市場環境の変動などにより、当該運用方針が変更される場合があります。

## ○ 1 万口当たりの費用明細

(2020年2月6日～2021年2月5日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
そ の 他 費 用 (保 管 費 用)	円 1 (0)	% 0.004 (0.004)	その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用 その他は、信託財産に関する租税、信託事務の処理に要する諸費用等
(そ の 他)	(0)	(0.000)	
合 計	1	0.004	
期中の平均基準価額は、12,265円です。			

(注) 期中の費用（消費税等の課されるものは消費税等相当額を含めて表示）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。ただし、平均基準価額は円未満切り捨て。

(注) 各比率は、1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

## ○ 売買及び取引の状況

(2020年2月6日～2021年2月5日)

## 公社債

		買 付 額	売 付 額
外国	アメリカ	千米ドル 12,247	千米ドル 24,088
	社債券		

(注) 金額は受け渡し代金（経過利子は含まれておりません）。

(注) 社債券には新株予約権付社債（転換社債）は含まれておりません。

(注) 単位未満は切り捨て。

## ○ 利害関係人との取引状況等

(2020年2月6日～2021年2月5日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

## ○組入資産の明細

(2021年2月5日現在)

## 外国公社債

## (A) 外国（外貨建）公社債 債券種類別開示

区 分	当 期			末				
	額 面 金 額	評 価 額		組 入 比 率	うちB B格 以下組入比率	残 存 期 間 別 組 入 比 率		
		外 貨 建 金 額	邦 貨 換 算 金 額			5 年 以 上	2 年 以 上	2 年 未 満
アメリカ	千米ドル 31,654	千米ドル 34,177	千円 3,607,117	% 97.9	% -	% 6.7	% 85.8	% 5.4
合 計	31,654	34,177	3,607,117	97.9	-	6.7	85.8	5.4

(注) 邦貨換算金額は、当期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

(注) 額面・評価額の単位未満は切り捨て。

(注) -印は該当なし。

(注) 評価については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

## (B) 外国（外貨建）公社債 個別銘柄開示

銘	柄	当 期			末		
		利 率	額 面 金 額	評 価 額		償 還 年 月 日	
				外 貨 建 金 額	邦 貨 換 算 金 額		
アメリカ		%	千米ドル	千米ドル	千円		
	普通社債券	4.0	1,273	1,396	147,408	2024/1/15	
		3.125	1,311	1,389	146,638	2023/9/1	
		4.1	510	545	57,605	2024/10/1	
		3.25	1,300	1,376	145,240	2023/9/15	
		3.85	415	453	47,900	2025/2/1	
		5.125	1,025	1,161	122,617	2026/8/15	
		4.15	430	460	48,577	2025/4/1	
		5.0	1,402	1,600	168,870	2025/7/1	
		3.625	1,905	2,005	211,639	2025/2/1	
		3.875	510	563	59,479	2025/5/1	
		3.75	1,655	1,753	185,077	2023/10/15	
		4.375	245	273	28,903	2025/10/1	
		3.3	830	905	95,556	2025/2/1	
		4.0	522	553	58,395	2026/10/1	
		3.75	330	359	37,900	2024/6/15	
		3.9	345	378	39,920	2024/6/15	
		4.375	1,479	1,600	168,922	2023/8/1	
		4.45	1,680	1,827	192,855	2024/3/15	
		5.0	1,636	1,762	186,062	2023/12/15	
		4.0	510	546	57,720	2024/12/15	
		4.0	1,810	1,899	200,525	2025/3/15	
		4.5	830	883	93,237	2025/2/1	
		3.25	1,820	1,884	198,890	2022/10/15	
		4.45	539	610	64,461	2026/9/15	
		3.875	753	789	83,347	2023/12/1	
		3.75	725	768	81,139	2024/12/1	
		3.75	389	423	44,717	2024/5/1	
		3.5	591	648	68,441	2025/2/1	
		4.6	1,300	1,434	151,436	2024/2/6	
		4.45	1,040	1,122	118,520	2024/1/15	
		3.625	1,276	1,388	146,529	2024/3/15	
		4.6	1,268	1,407	148,578	2024/4/1	
合 計					3,607,117		

(注) 邦貨換算金額は、当期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注) 単位未満は切り捨て。

## ○投資信託財産の構成

(2021年2月5日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
公社債	千円 3,607,117	% 96.4
コール・ローン等、その他	134,418	3.6
投資信託財産総額	3,741,535	100.0

(注) 評価額の単位未満は切り捨て。

(注) 当期末における外貨建純資産 (3,740,443千円) の投資信託財産総額 (3,741,535千円) に対する比率は100.0%です。

(注) 外貨建資産は、当期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、邦貨換算に使用した為替レートは、1米ドル=105.54円です。

## ○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2021年2月5日現在)

項 目	当 期 末
(A) 資産	3,798,635,213 円
コール・ローン等	46,133,627
公社債 (評価額)	3,607,117,766
未収入金	112,511,666
未収利息	30,078,094
前払費用	2,794,060
(B) 負債	114,579,367
未払金	57,379,365
未払解約金	57,200,000
未払利息	2
(C) 純資産総額(A - B)	3,684,055,846
元本	2,861,627,402
次期繰越損益金	822,428,444
(D) 受益権総口数	2,861,627,402口
1万口当たり基準価額(C / D)	12,874円

(注) 期首元本額 4,048,137,458 円、期中追加設定元本額 300,749,207円、期中一部解約元本額1,487,259,263円。当期末現在における1口当たり純資産額12,874円。

(注) 当期末現在において、当親投資信託受益証券を組み入れているベビーファンドの組入元本額の内訳は、下記のとおりです。

## &lt;組入元本額の内訳&gt;

A B米国投資法人債ファンド (為替ヘッジあり) (適格機関投資家専用) 2,861,627,402円

## ○お知らせ

該当事項はありません。

## ○損益の状況 (2020年2月6日~2021年2月5日)

項 目	当 期
(A) 配当等収益	154,798,995 円
受取利息	154,808,535
支払利息	△ 9,540
(B) 有価証券売買損益	△ 142,892,290
売買益	101,541,345
売買損	△ 244,433,635
(C) 保管費用等	△ 164,754
(D) 当期損益金(A + B + C)	11,741,951
(E) 前期繰越損益金	1,111,967,737
(F) 追加信託差損益金	70,888,219
(G) 解約差損益金	△ 372,169,463
(H) 計(D + E + F + G)	822,428,444
次期繰越損益金(H)	822,428,444

(注) (B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注) (F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) (G)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。